

UK

UK REPORT

New Products

SOLIO X/朝日レントゲン工業
〈アーム型X線パノラマ・CT診断装置〉

朝日レントゲン工業から発売された“SOLIO X”（ソリオ エックス）は、最大FOVφ90×91（H）mmを持ち、新型センサーと独自画像処理技術で高画質化を実現したアーム型パノラマCT複合機です。また、コンパクトデザインにより、1500mm×1500mmのレントゲン室に設置が可能です。

【特徴】

- FOV：φ51×55（H）mm、φ90×91（H）mm。
- 朝日レントゲン史上最速のCT撮影で360°撮影で12秒、180°撮影で6秒で撮影が可能です。
- 各種画像処理技術で高画質化を実現しており、CT画像ではアーチファクト低減の機能を標準装備。
- 患者様の位置付け後、患者様の顔を動かすことなくCT撮影機構の上下動でCT撮影エリアの調整が行えます。
- 1500mm×1500mmのスペースに設置可能なコンパクトデザインです。

標準価格＝本体一式 14,500,000円
※取付費等別途必要

ステイティムG4シリーズ
/セキムラ
〈カセット式卓上型高速高圧蒸気滅菌器〉

SciCan社製のカセット式高速高圧蒸気滅菌器で実績のある「ステイティム」が、通信サポートの充実と、より壊れにくく、そして操作性の向上を図り、“ステイティムG4シリーズ”としてセキムラから発売されました。カセットユニットの容量が違う2000G4と5000G4の2機種をラインナップし、短時間で確実な「器具に優しい」滅菌技術と、かつてない相互作用力を実現しました。

【特徴】

- 未包装・包装でも最短3.5分の運転時間。高速滅菌のため、高価な器具の酸化や腐食を防ぎます。（カセット内の滅菌物により運転時間は変わります。）
- 滅菌バックに包装された状態でのハンドピース中空滅菌も可能。（第三者機関にて効果が実証されています。）
- 100V（12A）での電源を使用するため、電気工事の必要がありません。
- 本体を有線LANケーブルに接続すれば、エラーが発生した際、自動的にメーカーへ連絡が届く設定なので、サポート体制も安心です。
- 数少ないカセット型の滅菌器で、オプション品のカセットの増設により、カセットの差替えを行いながらの連続運転が可能です。

標準価格＝2000G4 790,000円
5000G4 1,280,000円

アクアスタート/セキムラ
〈ポータブル蒸留水器〉

セキムラから発売された“アクアスタート”（SciCan社製）は、滅菌器などを故障のリスクから守るクリーンな蒸留水を作るポータブル蒸留水器です。ユニークな蒸留技術により、特許を取得した省エネ設計では、水を気化した後、濃縮して再構成することで有害な細菌やウイルスを殺し、その結果、ほとんどの汚染物質の99%が除去された蒸留水を作り出します。

【特徴】

- オートクレープ滅菌器に必要な高純度で新鮮な水を作り出します。
- 非常に低い消費電力で、効率的に4.25時間で蒸留水3.78リットル（1ガロン）の水を処理します。
- 取り外し可能な沸騰室は使いやすくクリーニングも簡単です。
- ユニークなデザインのヒーティングベースによって実現したコンパクトボディで設置場所を選びません。また、新しい現代的なデザインで、あらゆるオフィスのインテリアにフィットします。
- 軽量4.5kgの本体は、どこにでも簡単に持ち運びが可能です。

標準価格＝本体一式 98,000円

My Recommendation

『LiSiプレスベスト』

〈ジーシー〉



標準価格＝6kg（100g×60包）28,000円

反応層除去の手間を省きませんか？

今回ご紹介させて頂く商品は、GCより発売されております『LiSiプレスベスト』です。こちらの商品は、練和終了5分後も高い流動性を保っているため、時間に余裕を持って作業が行えます。また、急速加熱りん酸塩系埋没材なので、埋没後リングファーン投入まで最短で20分での急速加熱が可能です。さらに、セラミックスの反応を抑える特殊な成分の埋没材なので、付属の界面活性剤『SRリキッド』と併用することによりガラスビーズプラスティングのみで反応層の除去が可能となっております。

ご採用いただいた技工士様からは、「反応層除去作業が容易になり作業時間の短縮になった。」と有難いお言葉を頂いております。是非この機会にお試しされてはいかがでしょうか。商品詳細に関しては弊社営業担当者までお気軽にお尋ね下さい。

鹿児島店 営業二課 中村 健斗

歯科医院経営を考える(467)

～ うすき石仏ネット ～

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

東京医科歯科大で開催された第57回日本歯科医療管理学会に出席した。その中で講演された臼杵市医師会医療福祉総合センター長 舩友一洋先生の講演「地域包括ケア時代における医科歯科連携とICT活用」に強い興味を感じた。大分県臼杵市は人口約4万人弱、地方の小都市である。そこに「うすき石仏ネット」というICT(IT)による医療情報ネットワークを構築して素晴らしい実績を挙げている。平成28年4月現在で9050人が「うすき石仏カード」を持っているというから普及率は20%を超えている。その目的として挙げられているのは、「患者様のプライバシー保護を厳重に図りながら、診療情報、介護情報の一部を、参加機関間を結ぶネットワークで共有し診療、検査などから得られた多くのデータを基に治療法を検討し、わかりやすく説明を行い、質の高い安全な医療サービス、介護サービスの提供を可能にすることを目的としている」としている。インターネットでも見られるので見ていただければわかるが、病院、医院、歯科医院、調剤薬局、検診、介護施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事務所に消防署も含めた広域のネットワークを作り上げ、それらの機関が連携して患者を見守る体制が出来ていることである。その趣旨に賛同すれば同意書にサインをして石仏カードをもらい加入することができるという。ただその石仏カードには患者情報は入っておらず、以前にかかった医療機関が持つ自分の医療現場情報が見られる鍵になっているのだという。患者がどのような薬を飲んでいるかとか、どのような持病を持っているか、認知症の診断を受けているか等の情報が分かるというのは、患者にとっても安心できるし、何よりも医療機関にとって重要な患者情報が入手でき、投薬する場合も安心できる。ただ地域に密着してお互いの顔が見える関係にあるというくらいだからこそ良好な関係が維持できるのだと思う。こうしたICTのネットワークは人口5万人以下の小都市だからこそ有効に機能するのだと思う。問題は今後高齢化が進み人口減少が進んだ時に機能の維持ができるかということである。医療・介護の包括ケアのネットワーク機能を維持していくには、人口動向、交通機関、地域の産業経済等々横の連携が重要になる。つまりその前提になる産業づくり、町づくり、人づくり等の地域活性化の戦略上の視点が不可欠となってくると思う。

(つづく)

※玉井ニュース 2016年 8月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊

『フローチャートでわかる歯科医院における50の痛み』
～診断手順と治療法～



臨床でよく遭遇する患者さんの痛みについて、その痛みのタイプ別診断フローチャートを提示し、見開きで診断の流れ、治療法について簡潔に解説。患者さん個々の状態に即した的確な判断がすぐできる読みやすい誌面構成。診断と治療をするうえで必要となるノウハウがぎっしりつまっていた一冊。

- 著 = 福田 謙一
- 出版 = 医歯薬出版
- 価格 = 8,500円 + 税

『誰も教えてくれなかった患者さんの心をつかむ
デンタルコミュニケーションメソッド』



コミュニケーションギャップを防ぐ方法や良好な信頼関係を築くために必要な方法(代表システム、メタモデルの質問)、そしてラポール形成の実践方法をわかりやすく解説し、歯科臨床の場ですぐに活かせるよう、歯科医院での過去の事例をとりあげて解説。患者さんとのコミュニケーションのとりかたが学べる一冊。

- 著 = 杉岡 英明 / 熊倉 百音子
- 出版 = 医歯薬出版
- 価格 = 2,400円 + 税